

令和5年度進行管理 戦略点検シート

◎基本政策 2 健康で安心な生活基盤の整備

主要課題	No.	28	総合的な自殺対策の推進
-------------	-----	----	--------------------

● 4年後の目指す姿・計画期間の方向性 ● 主要課題の戦略シートで設定している「4年後の目指す姿」と「計画期間の方向性」を転記しています。

4年後の目指す姿	自殺対策の基盤となる活動の推進や連携体制の強化により、区の自殺死亡率の減少傾向が維持されている。
計画期間の方向性	<p>○自殺対策の啓発と人材育成 自殺対策は「生きるための支援」であることを踏まえ、区民一人ひとりが自殺対策を正しく理解し、その重要性を認識できるよう、啓発活動を推進します。また、自殺対策を推進する上で基盤となる人材（ゲートキーパー）の育成に取り組みます。</p> <p>○関係機関・地域ネットワークの強化 悩みを抱える人を早期に発見し、適切な支援につなぐため、区や関係機関等とのネットワークを強化し、相談しやすい地域づくり等、自殺対策を推進する環境を構築します。</p>

0 昨年度の施策の方向性（昨年度の点検における「4 今後どのように進めていくか」）

ゲートキーパー養成講座については、動画配信を活用する等、より受講しやすい開催と継続的な講座の実施を進めるとともに、対象となる人材が、ゲートキーパーとして必要な知識やスキルを身につけることができるよう、講座内容の充実を検討します。

また、若い世代への周知啓発を一層進めるとともに、文京区自殺対策推進会議の関係機団体等との連携を図り、区の自殺対策推進のための施策を検討していきます。さらに、自殺未遂者支援については、医療機関と連携ができる領域について、具体的な事例を通じて模索を行い、支援体制の構築を検討します。

事業費（令和4年度） 上段：実績 下段：当初予算

1 どのような事業で・何をしたか（実績）

戦略シートの課題の解決手段として紐づけた計画事業について、「何をしたか」「何がどうなったか」を記しています。

事業番号	事業名称	所管課	事業の持つ役割						事業費(千円)	
107	総合的な自殺対策の推進	予防対策課	自殺対策の基盤となる活動の推進や連携体制を強化する。						791千円 (1,122千円)	
	主な取組実績			単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	①	ゲートキーパー養成講座での参加者の理解度(人材育成)	%	—	95.4	90.7	100	96.8		
	②	自殺対策講演会での参加者の理解度(啓発周知)	% (回答者数)	—	86.6 (45)	中止	100 (6)	92.8 (13)		
R2(2020)	自殺対策講演会については、新型コロナウイルス感染拡大のため、中止になりましたが、区民への自殺対策に関連する相談窓口の周知を一層図るため、関係機関への相談窓口一覧の配布部数を1,200部増やしました。									
R3(2021)	ゲートキーパー養成講座については、福祉施設等で支援に関わっている方を対象とした連続講座を実施し、基礎編・応用編に各20人参加しました。									
R4(2022)	人材育成のためのゲートキーパー養成講座については、区民及び支援に携わる職員の対象別に2回実施し、区民は31人、職員は20人参加しました。									

●特記事項（実績の補足）

--

2 現総合戦略において、社会ではどのような動きがあったか（社会環境等の変化）

人口の増減や、国や都の動きなど、主要課題の背景に関して、令和2年度から5年度までの現総合戦略の計画期間において、「何があったか」「今後予想される」等の社会の変化を捉えています。

チェック	チェック項目
無	主要課題に関連する法改正があった（今後、法改正がある）
有	主要課題に影響を及ぼす変化等があった（今後、変化等の可能性がある）

全国の自殺者数は、平成10年の3万人を超える状況から高止まり傾向が続き、22年以降は減少に転じておりましたが、令和2年は新型コロナウイルスの影響もあり11年ぶりの増加となり、3年は再び減少に転じております。本区における自殺者数は、直近5年で年間18人～26人で推移している状況です。
4年10月には国の自殺総合対策大綱の改正、5年4月には都の自殺総合対策計画が改正され、5年度は、区の自殺対策計画の改定を進めています。

3 現総合戦略における成果や課題は何か（点検・分析）

1と2に基づき、計画期間の方向性ごとに、令和2年度から5年度までの現総合戦略の計画期間において、「課題解決にどのような成果があったか」「成果が出ない要因は何か」「新たな課題が生じてないか」などを点検・分析します。

○自殺対策の啓発と人材育成

ゲートキーパー養成講座については人材育成のための施策の柱と位置付け、区民向け、サポーター向け、支援者向けの講座を実施し、それぞれが、関心を持つ、相談へつなぐ、高い気づきや技術を修得するという目的を明確化し、多くの方が適切に行動できる人材育成を計画的に進めており、さらに継続して実施していく必要があります。

自殺対策講演会については、区内大学と連携を図り、強化するべき自殺対策をテーマに実施しています。令和4年度は区内大学の客員研究員を講師に招き、若者・子どもの自殺予防対策をテーマとして区内在住、在勤、在学の方を対象として講演を実施しました。

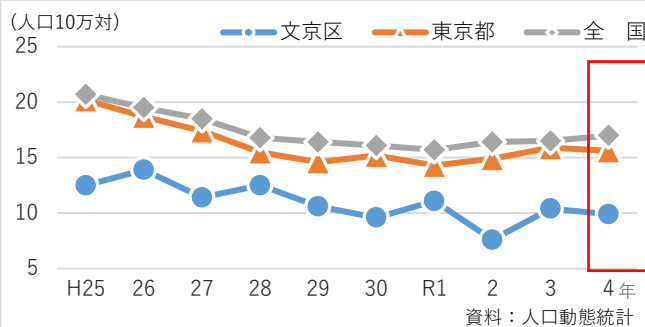
○関係機関・地域ネットワークの強化

自殺対策施策の推進のため、自殺対策計画に基づき、令和2年度から区内の自殺対策委員会と外部の有識者で構成される「文京区自殺対策推進会議」を設置しています。

自殺未遂者支援について、区が実施する自殺未遂者等のハイリスク者支援を、関係機関との連携を図りながら体系的かつ総合的に推進するため、実務者を対象とした文京区自殺未遂者等のハイリスク者支援のあり方を考えるための意見交換会を開催しました。事例報告に基づいた検討を行うことで、区と関係機関が課題を共有するとともに、双方向のネットワークを構築していきます。

●自殺死亡率の推移

●年齢階級別に見た死亡原因の状況



暫定値	第1位	第2位	第3位
10歳代	自殺	-	-
20歳代	自殺	悪性新生物	-
30歳代	自殺	悪性新生物	心疾患
40歳代	悪性新生物	自殺	心疾患
50歳代	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患
60歳代	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患
70歳代	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患
80歳代	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患
90歳代以上	老衰	心疾患	悪性新生物

(H29年～R3年合計・文京区)

4 次期総合計画において、どのように進めていくか（展開）

3を踏まえ、「何の対応が必要か」「何をどのようにしていくか」など、令和6年度から9年度までの次期総合計画の計画期間における戦略としての進め方を記しています。

自殺対策の啓発と人材育成の一環としてゲートキーパー養成講座を実施しており、区民・サポーター・支援者を対象としてそれぞれが関心が深いテーマを選定するとともに、社会情勢の変化にあわせ、研修テーマや講師、実施方法を工夫しながら企画していきます。また、区民等へ広く研修受講を促すために、動画配信による研修を引き続き、実施していきます。

関係機関・地域ネットワークの強化については、文京区自殺対策推進会議の関係団体等と連携を図り、区の自殺対策推進のための施策の検討を行うとともに、実務者を対象とした文京区自殺未遂者等のハイリスク者支援のあり方を考えるための意見交換会では、区と関係機関の双方向のネットワークの構築を進め、支援体制の検討を行います。

5 6年度、事業をどうするか（事業の見直し）

主要課題に紐づけられている個々の計画事業の6年度の検討の方向性を「継続」「レベルアップ」「見直し・縮小」「事業終了」「計画変更」で記します。

事業番号	計画事業名	所管課	次年度の方向性
107	総合的な自殺対策の推進	予防対策課	レベルアップ